



着る方の状態や障がいに合わせて、着物は着やすいよう工夫。振袖部分は軽量化し、車イスの外側に袖を垂らして華やかさを。



帯結びの重量感が振袖の「着た感」に繋がります。お好みの髪飾りで。

「どんな仕組みなの？」
障がいがあっても、高齢者でも美しく装える
『早咲羅』着用のポイント。

着物の着付けには、慣れた方でも数十分はかかります。まして振袖となれば、専門技術を持った着付師の方にお願ひして…。それが3分程度で誰にでも着せられる!?

常識をくつがえした、画期的な着物『早咲羅』。着用のポイントを浅倉さんに伺いました。
●腰巻や長じゅばんなどの下着は不要です。普段着の上から、そのまま着せることができます。

●着付けた状態のものを、上下2ピースに分けた作りで、下半身の下衣は巻きスカート式。上半身の上衣は背中が開いた一体構造です。ベッドに横になった状態の方にも、無理なく着せられます。下衣を膝にかけ上衣の袖を通して、正面からだけ着物に見える「膝掛け式」もあります。

●帯は作り帯。前面は帯締めや帯揚げを調和よく合わせ、ビーズやパールで装飾も。ゴムとマジックテープで固定します。

●後ろの帯結びは車イスの背もたれの形に合わせて着装するスタッキング(重ね)式です。重ねることで、左右のバランスがとれ、豪華絢爛な帯に。クッション材が入っているので、車イスの方にも負担のかからない着心地です。



②上衣は前から被せるように袖を通し、背中をファスナーで止め、後ろ襟についたボタンとテープで襟元を整えます。

③胴に帯を回して、ゴムとテープでしっかり留め、後ろの帯結びをセットします。

もうひとつの願い
世界中の着物ファンを元気に!

こだわり空間から
日本文化を発信します。

『早咲羅』を考案した浅倉さんには、高齢者や障がい者に限らず、世界中の着物ファンに手軽に和装を楽しんでもらい、着物を通して日本文化の素晴らしさを伝えたい!という、もうひとつの大きな目標があります。新しくオープンした店舗は、その願いを具現化する目的も。2階は『和』の色彩にあふれたこだわりの空間。着物全般を取り扱っていて、近くの筑波大学の学生さんが成人式や卒業式用に予約しに来ます。年齢も国籍も問わない『早咲羅』で日本を発信!



『早咲羅』を世界に伝えるために開催した『簡単着物体験』。老若男女を問わず皆さんよくお似合い。笑い声と笑顔に包まれ、手ごたえを感じた浅倉さんは、さらに発信を続けます。



ベンガラ色の壁に、竹製の上棚、そして桜の柱がアクセントの陳列棚。意匠を凝らした帯の前姿と後姿がセットで、わかり易く展示されています。



帯と同柄、帯揚げと同素材など、色やモチーフ、デザインにこだわった職人技の髪飾り。



浮腫・下肢装具・義足など草履をはくことの出来ない人のために。浅倉さん開発のシューズカバー。靴に被せるだけで草履をはいたように。



黒塗りの反物掛けに並んだ、だて締めや帯揚げ。車イスの方にもゆっくり選べます。



車イスから見たときの、目線に配慮したディスプレイ。パールやビーズの光る素材を駆使した、手の込んだ意匠にびっくり。